

LM・グローバル・プレミア小型株ファンド（年1回決算型）/（年2回決算型）

当ファンドの運用担当者に聞きました ①

平素は「LM・グローバル・プレミア小型株ファンド（年1回決算型）/（年2回決算型）」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2019年6月、レグ・メイソン傘下の運用子会社であるロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー（以下ロイス）のスティーブン・マクボイル氏が来日しました。同氏は小型株運用で豊富な運用経験を有し、当ファンドのポートフォリオ・マネジャーを務めています。今回は、ロイスの投資哲学や個別銘柄についてインタビューした内容を3回に分けてご紹介します。

第1回は、「ロイスの投資哲学」について伺いました。

当ファンドの運用担当者 スティーブンってどんな人？



スティーブン・マクボイル Steven McBoyle
ポートフォリオ・マネジャー

12

ロイス在籍年数

28

業界経験年数

職歴

- ・ロード アベット ▶ ポートフォリオマネジャー
シニアリサーチアナリスト
- ・モルガンスタンレー ▶ M&A業務に従事
- ・ソロモン・ブラザーズ ▶ M&A業務に従事

学歴

- ・コロンビア大学MBA
- ・ウォータールー大学（カナダ）学士

当ファンドでは主に米国小型株の運用を担当。

父親が投資家として成功を収めていることが、投資への関心を高めたまっかけ。父親からの影響はもちろんのこと、公認会計士時代やコロンビア大学MBA在籍時に何人もの著名投資家と出会えた経験が、現在の投資哲学の礎となっている。趣味はスポーツ。かつてカナダ代表候補にもなったほどの上級スキーヤー。水泳も得意でトライアスロンにも挑戦している。

ポートフォリオ・マネジャーのスティーブン氏のインタビュー

Q. ロイスは小型株運用のスペシャリストとして約半世紀にわたる歴史がありますが、ロイスが大切にしている投資哲学について教えてください。

A. ロイスは米国の資産運用業界で「小型株運用の雄」として知られています。この地位を築けたのは、当社の投資哲学を一貫して実践してきた賜物ともいえるでしょう。ロイスでは特に次の5つの哲学を大切にしています。

哲学

1

勝つための負けにくい運用（リスク管理の徹底）

株式の上昇相場では、短期間に株価の急上昇を期待できるような株に目がいきがちですが、**長期的に資産を増やしている投資家は、リスク管理をしっかりと行い、株式市場が軟調な局面でも下落幅を抑えた負けにくい運用を行っています。**

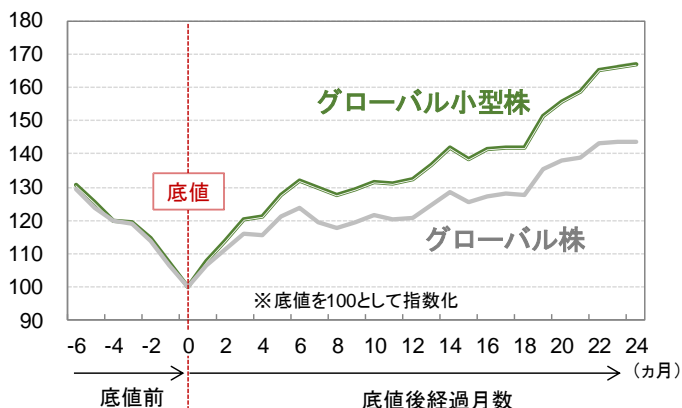
ロイスはそのような運用を目指し堅実な優良企業を探すことを重視しており、そのために徹底した分析を行っています。

哲学 2

長期投資

各グローバル株式の推移

(底値の6か月前～24か月後)



(出所) ブルームバーグ ※グローバル小型株：MSCI ACWI小型株指数、グローバル株：MSCI ACWI Index、全てネット配当込、円ベース
 ※株価指数の底値の6か月前～底値後24か月の月次騰落率の平均を基に算出。株価指数の底値は以下5ケースの各指数の最小値を使用：①2001年9月、②2003年2月、③2009年2月、④2011年9月、⑤2016年2月 ※MSCI ACWI 小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

株式市場の不透明感の高まりや下落相場に遭遇すると、投資家は心理的不安に耐えられず株を手放してしまうことも多いと思います。

しかしロイスではむしろ、このような相場つきは優良銘柄を安く買う絶好の機会ととらえています。

過去、底値からの回復局面において、グローバル小型株はグローバル株を上回るパフォーマンスとなりました(左図)。当ファンドが投資する企業は、景気変動の波を乗り越えて成長を続けてきた優良企業が多く存在します。

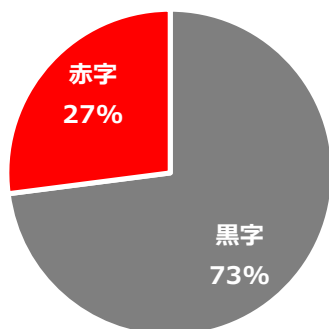
実際、私が運用をしている米国の小型株ファンドの例では、割安な値段で購入した銘柄を平均で8～9年程度保有し、企業の成長を見守っています。

哲学 3

ベンチマーク (株価指数) にとられない運用

米国小型銘柄の純利益の黒字・赤字比率

(2019年5月末時点)



(出所) ブルームバーグ
 ※米国小型銘柄：MSCI ACWI 米国小型株指数の構成銘柄

ここ数年、ベンチマークに連動する低コストのETFや投資信託が広がりを見せていますが、ロイスの運用ではベンチマークを参考にしません。

例えば米国小型株指数の1つである「MSCI ACWI 米国小型株指数」の構成銘柄の約3割は赤字企業であり、**指数連動型の投資信託を購入すると、必然的に赤字企業も保有することになります(左図)。**

これは本当に良いことなのでしょうか？当ファンドの運用はベンチマークを持たないため、確信度の高い優良企業のみを選定することができます。

哲学 4

活発な自社調査

ロイスは「ほぼすべて自社で調査を行う運用会社」として知られています。

ロイスはすでに小型株運用で市場から一定の評価をいただいているため、**IR活動のため1日平均5、6社の経営幹部やIR担当者が来社し説明をしてくれます。**そのため会社にいながらにして新鮮な情報を得やすい環境にあります。

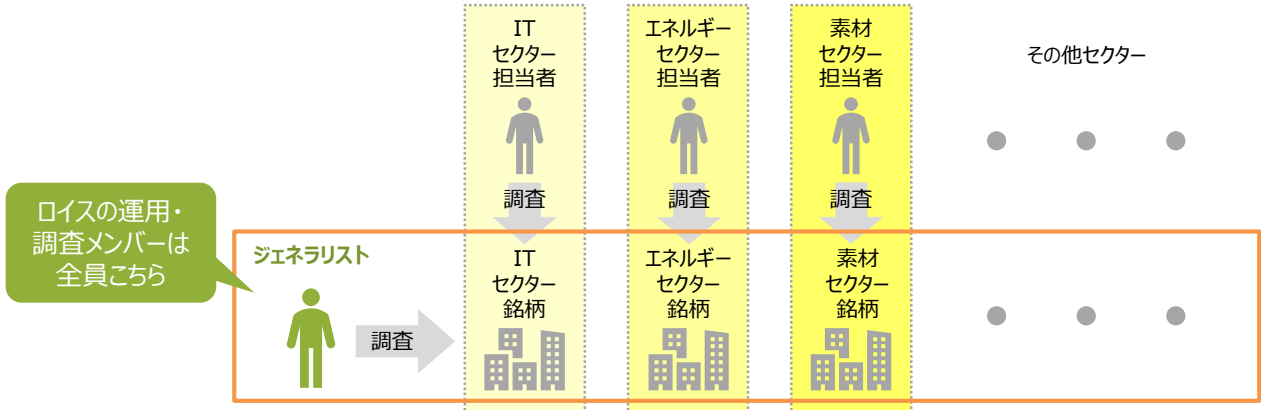
しかし、私たちの調査はこれだけにとどまらず、工場関係者、原材料供給業者、顧客企業やライバル企業にも調査を行うことで、その企業の本当の姿を捉えようとしています。

全員が全業界をみるジェネラリスト

ロイスは業種ごとに担当者を置くべきでないと考えており、**全員が全業界をみるジェネラリストです。**

なぜなら、例えばITセクターのみを担当するアナリストは、ITセクター銘柄しか推奨しません。そのため、「そもそもITセクターに投資しない」といったセクター間の投資のメリハリがつけにくくなる可能性があり、お客様の大切な資金を運用する観点ではベストではないと考えているからです。

また、業種をまたぐテーマ、例えば「ITによる自動化」は、ITセクターだけではなく全ての業種に横断的に活用されており、ジェネラリストだからこそ事業の成否を分ける経済構造に気づくこともあると考えています。

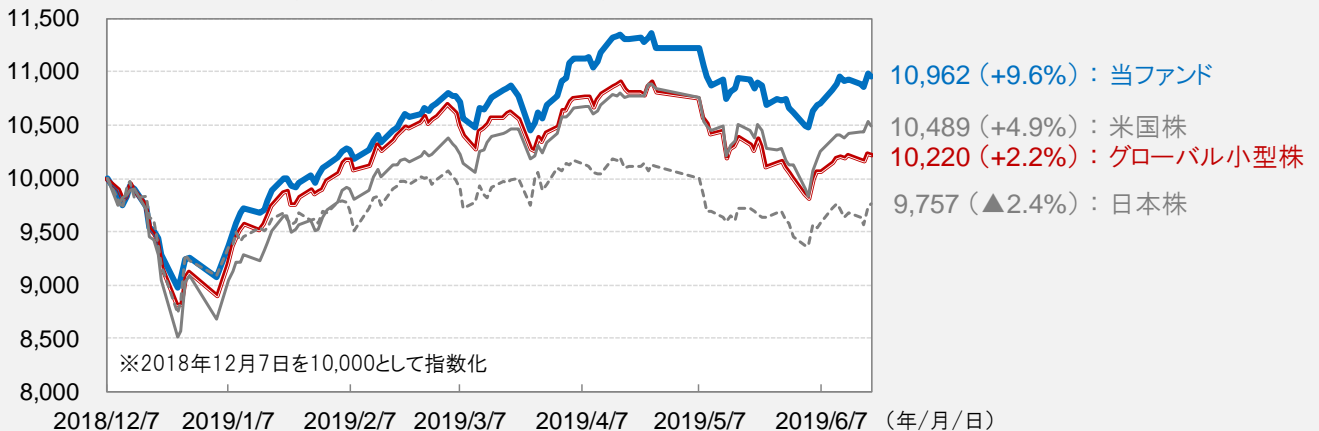


投資哲学を日々実践し、当ファンドの基準価額は堅調に推移

- ロイスの投資哲学を日々実践する当ファンドの基準価額は堅調に推移しています。設定来の基準価額は962円上昇し、6月20日は10,962円となりました。
- 当ファンドの設定後、世界的な株安および円高の展開から基準価額は下落しましたが、その後は上昇に転じました。足元は米中貿易協議の先行きが気掛かりなもの、世界的に金融緩和の動きが強まっていること等から株式相場は底堅く推移しています。
- 当ファンドはグローバル小型株市場全体を上回る運用成果を獲得しています。また、日本株や米国株と比較しても、それらを上回る運用実績となっています。

【当ファンドの基準価額および主な指数の推移(円建て)】

(設定日:2018年12月7日~2019年6月20日)



(出所)ブルームバーグ

※当ファンド:LM・グローバル・プレミア小型株ファンド(年1回決算型)、グローバル小型株:MSCI ACWI小型株指数、米国株:S&P500種指数、日本株:TOPIX(東証株価指数)、すべて配当込み(円換算ベース)。グローバル小型株および米国株は前営業日の数値を使用。

※MSCI ACWI小型株指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。

●当資料は、説明用資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」上での「ご注意事項」をご確認ください。

【お申込みメモ】

ファンド名	LM・グローバル・プレミア小型株ファンド(年1回決算型)/(年2回決算型)
購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込受付分とします。
購入・換金の申込受付不可日	ロンドン証券取引所またはニューヨーク証券取引所の休業日の場合には、購入・換金申込は受けません。
信託期間	2028年12月6日まで(2018年12月7日設定) 信託期間は延長することがあります。
決算日	<年1回決算型> 毎年12月6日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型> 毎年6月6日および12月6日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配方針に基づき分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度(NISA)および未成年者少額投資非課税制度(ジュニアNISA)の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。 ※税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。

【ファンドの費用】

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	申込金額(購入価額に申込口数を乗じて得た額)に販売会社がそれぞれ独自に定める率を乗じて得た額とします。手数料率の上限は、 3.24%(税抜3.00%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.836%(税抜1.700%) ※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎決算時または償還時に当ファンドの信託財産から支払われます。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、その他諸費用(監査費用、印刷等費用、計理およびこれに付随する業務の委託等の費用、受益権の管理事務費用等。)等を信託財産から支払います。 その他諸費用は毎日計上され、「年1回決算型」は毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎決算時または償還時に、「年2回決算型」は毎決算時または償還時に、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額の合計額を上限として委託会社が算出する金額が、その他については原則として発生時に実費が、信託財産から支払われます。 ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。
購入申込取扱場所	取扱販売会社までお問合せください。

※投資家の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有している期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【委託会社、その他の関係法人の概況】

委託会社	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ロイス・アンド・アソシエイツ、エルピー (在米国)
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
取扱販売会社の照会先	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 http://www.leggmason.co.jp (03)5219-5943

●当資料は、説明用資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面およびここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。※後述の「本資料をご覧ください」上での「ご留意事項」をご確認ください。

販売会社名		登録番号	年1回 決算型	年2回 決算型	日本 証券業 協会	一般社団法人 日本投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物取引業 協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会	日本商品 先物 取引協会
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○		○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○	○	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○		○	○	
株式会社三重銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第11号	○	○	○				
西日本シティ銀行証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○	○	○				
岡三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○		○	
とちぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○	○	○				
池田泉州証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○	○	○				
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー PB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号	○	○	○	○			

当ファンドについてのご注意事項

投資元本を割り込むことがあります。

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額を変動させるいろいろなリスクがあります。

- 当ファンドの基準価額を変動させる要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」や「流動性リスク」などがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。ファンドのリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

分配金が支払われないことがあります。

- 分配対象額が少額等の場合には、分配を行わないことがあります。

その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

※MSCIが算出する指数は、MSCI Inc.の財産であり、その著作権はMSCI Inc.に帰属します。

本資料をご覧いただく上でのご留意事項

●投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。●投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。●証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。●投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、投資元金が割り込むことがあります。基準価額の変動要因となるリスクの詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。●投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。●投資信託に係る申込手数料は販売会社にご確認ください。●投資信託の運用に係る信託報酬その他の費用等の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。●投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身でご判断ください。●投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をよくお読みください。

設定・運用は

レグ・メイソン・アセット・マネジメント

商号:レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会